

編集後記

●新型コロナの感染拡大が始まって以来、密にならないように呼びかけ、マスクの着用に注意を払い、昼食時は黙食を促し…。子どもたちが本来持っているべたべたと触れ合い、無邪気に友達と交流する欲求を抑制する指導となっています。「かかわらないように」という方向への声かけは、教育相談をアイデンティティにしている読者の皆さんにとって、とてもしんどいことだと思います。収束を願うばかりです。(こ)

●特集2を読んでいて、思い出した出来事があります。私が「困っている？」と聞いても「そこまでじゃない」と言う友達。しかし、関西出身の子が「しんどいん？」と一声かけたところ「そうなんよ」と悩みを打ち明けたのです。「つらい」などの意味を持ちながらも、やさしい響きのあるこの言葉だから、返事が引き出せたのでしょうか。「しんどい」という方言に、うらやましさを覚えたのを覚えています。(た)

次号のお知らせ

特集1 子どもの態度が豹変するとき

それまでは普通に接してくれていたのに、ある日手のひらを返したように態度が変わり、問題行動が目立つようになる子がいます。関係性の大きな変化の背景を探り、対応の工夫を紹介します。

特集2 教師自身の「コロナ疲れ」のケア

新型コロナの感染拡大の波が来るたびに、対応が求められ、教師自身もまさに「コロナ疲れ」の状態にあるのではないのでしょうか。自身のケアや、同僚の先生たちのケアの工夫を紹介します。



学校教育相談

2021年 令和3年 11月号

定価 820円 (本体 745円)

2021年11月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板

・『実践入門！ 学校で活かす認知行動療法』（嶋田洋徳著、2,420円(税込)）が発行になりました。2017年4月号から2年間の本誌の好評連載を再編集し、単行本化したものです。「認知行動療法」を学校での相談活動に活かすノウハウが、身近な事例をベースに紹介されています。支援が本当に子どもたちの「変化につながっているか」というエビデンス（証拠）に重きを置かかわり、適応的な行動を引き出し、不適応が効果的に改善！ぜひ周りの先生方におすすめていただけますと幸いです。詳細は、裏表紙の広告をご覧ください。

●本誌の2021年4月号からの1年間の誌代は12,340円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を！ 資料のファイル（一太郎・ワード・パワポなど）を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索